

ライター・チャッカマンの廃棄処理のしかた

ライター・チャッカマンの廃棄処分につきましては、通常のご使用方法でガスを使い切ってから廃棄処分をしていただきますようお願いいたします。

ライター・チャッカマンは、北部クリーンセンター・西部衛生施設組合とも燃えないごみ（不燃物）です。必ずガスを使い切ってから決められた日に出してください。

ガス抜き方法(個人の責任において実施してください)

作業はかならず直射日光が当たらず、風通しがよく火の気や可燃物がまわりにない屋外で実施してください。

ガスは空気よりも重く、下に流れたまわりやすい性質を持っています。

室内で作業をする、ガスが滞留して引火による火災・爆発や吸引事故の危険があります。

人通りのある場所では実施しないでください。

作業は人通りのない場所で行ってください。その場合でも十分に監視を行い、万一人の目に触れた場合には分かるように「ガス抜き作業中・さわるな・きけん」の表示をするなど対策をしてください。

作業の場所が決まりましたらライター・チャッカマンを着火し、いっぱいに着火レバー（スイッチ）を押したまま、火を吹き消して下さい。

火が消えても、そのまま着火レバーをいっぱいに押さえて下さい。

吹き消すときは眉や髪の毛を焼いたり、顔や手指をやけどしないよう、風向きや吹く方向に注意して下さい。

火が消えたことを確認して、押さえたままの状態の着火レバーを、粘着テープで元に戻らないようにしっかりと固定して下さい。

レバーはスプリングで元に戻るようになっていますが、テープを2重3重に貼ると効果的です。（ライターとチャッカマンは輪ゴムでもレバーを固定することができます）

この時、火は消えていてもガスは出ている状態です。火気による引火・火災と、ガスの吸引事故に注意して下さい。

また、着火レバーを固定する途中ではなしてしまつた場合、固定のテープや輪ゴムの止め方がゆるくてレバーが戻ってしまった場合は、もう一度、最初に戻つて、落ち着いてやり直して下さい。（あわててレバーを押すと火がついて危険です。）

そのまま、準備が終わつたライター・チャッカマンを作業場所に置いて、その場を離れて下さい。ただし、引き続き充分な監視を行ってください。

気温やライター、チャッカマンの大きさによつても異なりますが通常2時間程でガスが抜けます。

通行者、特に子供が触れないように注意してください。

この時、火は消えていてもガスは出ている状態です。火気による引火・火災と、ガスの吸引事故に注意して下さい。

またこの時、缶や箱などの容器に入れて放置しないでください。ガスがたまる可能性があり事故の原因となり危険です。

2時間程経過したら、ガスが抜けているかどうかの確認作業です。

必ずこの作業は行って下さい。

透明タイプのライターやチャッカマン、あるいはガス量確認窓付きのチャッカマンの場合、ガスがなくなつて見えるように見えても、気化した（液体から気体になった）ガスがタンク内に残っている場合があります。抜いたガスが拡散せずに、周囲にまだ残っている可能性があるので、ガス抜き作業を行っていた場所から離れた、風上に移動して下さい。

移動が終わつたら、ライター・チャッカマンから固定していた粘着テープ（輪ゴム）などをはずし、元の状態に戻します。

その際、粘着テープがきちんとはがれ、糊などが付着していないか確認して下さい。テープが残つたままですと、着火動作不良で事故の原因になります。

そのあとで、数回着火の動作をおこなってください。火がつかなければガス抜き作業終了です。

まだ火がつく場合は液化ガスが残っているか、気化した（液体から気体になった）ガスがライター・チャッカマンのタンク内に残っています。火がつかなくなるまで使い切るか、もう一度最初からやり直して下さい。

ガスが抜けている事が確認できましたら、作業終了です。

不燃物（燃えないごみ）として処分して下さい。

お問い合わせ

町民環境課 河中

電話 (0868) 54-2684



混ぜればごみ、分ければ資源!!
すてればごみ、使えば資源!!
ごみを作らない、ださない。

ごみの減量化とリサイクル、
資源化にご協力をお願いします。

毎月10日はノーレジ袋デー（マイバッグ持参推進日）!!
マイバッグは持ち歩いて、いつでも使えるように!!
マイバッグはレジを通ってから使いましゅー!!

レジ袋の削減はごみを減らす
ための取り組みのひとつです。